

# <英文法超基礎⑪⑦> Lv.★★★★☆☆ 疑問文と語順③

## ① 強制的に倒置が生じるケース

強調のために(1. )や(2. )を文頭に持てくると、後ろは(3. )と同じ語順になる！これを(強制)倒置という。

### <強制倒置のパターン>

#### ① (4. )のついた副詞(句/節)が文頭にきた場合

Only in a tropical climate do these plants grow.  
「これらの植物は熱帯の気候でしか育たない」

#### ② (5. )・(6. )が文頭にきた場合

Little did I dream that he would win the race.  
「彼がそのレースに勝つとは夢にも思わなかった」

※この場合の little は(7. )や(8. )とほぼ同じ意味！  
弱い否定語の意味「9. 」ではないので注意！

#### ③ (10. )(11. )「12. 」(13. )(14. )「15. 」が文頭にきた場合

Hardly have I met such a kind boy.  
「そんな親切な少年に会ったことはほとんどない」

#### ④ (16. )が文と文を結んで(17. )が文頭にきた場合

Not only did he go there but also he met her.  
「彼はそこへ行っただけでなく彼女に会った」

#### ⑤ (18. )「19. 」が文頭にきた場合

Not a word did he say. 「彼は一言も言わなかった」

#### ⑥ (20. )が文頭にくる場合 ← 前置詞に注意！

Under no circumstances must the door be left unlocked.  
「決してそのドアのカギを開けたままにしてはならない」

※under no circumstances: 「21. 」  
= (22. )/(23. )/(24. )

## 2 構文上の倒置

- ① (25. ) : (26. ) ← (27. ) の前文を受けて  
→ 前文が一般動詞なら (28. ) を用い、助動詞や be 動詞の  
場合は (29. ) 用いる。

He caught cold and so did his sister.

「彼は風邪をひいた、そして彼の姉もそうだった」

- ※ (30. ) の語順もあり、前文を受けて (31. ) の意味で使う。

She said he was kind and so he is.

「彼は親切だと彼女は言ったが、実際その通りだ」

- ② (32. ) : (33. )

- 前文が (34. ) の場合は、so の代わりに neither / nor を用いる。

I can't eat natto. - Neither [Nor] can I.

「僕は納豆を食べられない。ー私も食べられません」

- ③ (35. ) : (36. ) 構文の倒置 ← L(08) 参照

• She is so rich that she can buy a car.

→ So rich is she that she can buy a car.

「彼女はとてもお金持ちなので車を買える」

• His talent was such that he became a famous actor.

→ Such was his talent that he became a famous actor.

「彼の才能はすごいものなので有名な俳優となった」

## 3 注意すべき語順

- ① so と such → 後ろに名詞がくる場合

so → (37. ) such → (38. )

- ② so · as · too → (39. )

He is as good a player as Shohei Ohtani.

「彼は太谷翔平と同じくらい良い選手だ」

- ③ 「~のA後に」 → (40. )

two years after ~ 「~の2年後に」

「~のA前」 → (41. )

- ④ 他動詞 + 副詞 → 後ろに代名詞がくる場合 ← イディオムで頻出!

→ (42. ) carry out A } 「Aを  
I carried it out. 「私はそれを実行した」 carry A out } 実行する